

通所介護サービスでは309人の方が利用し、福祉用具貸与と通所介護サービスの利用が増えているのが、本市の特徴となっています。

排水問題

問 下水道、合併浄化槽、単独浄化槽は、市全体でどのような割合か伺う。

市長 平成17年4月1日現在、2万7千684世帯のうち、公共下水道が約6千300世帯22・8%です。合併浄化槽は約9千世帯32・5%で、単独浄化槽は6千世帯21・7%です。

そのほか、大規模な宅地造成による集中浄化槽世帯が、約12%、残りの約11%が汲み取り世帯となっています。

問 大関調節池へはどの地域からの排水か伺う。

市長 大関調節池の集水区域面積は、約380haで、区域は大きく三分割され、それぞれの排水路から調節池へ流入しています。その主流となる排水路は、八街五差路付近から駅南側市街地を通り、千葉黎明高校グラウンドわきを経て調節池に至る排水路です。

問 きれいな水を流すため

に生活排水の市民への意識啓発は、どのように行っているのか。また、今後の取り組みはどうか。

市長 最近では、ほとんどの方が環境保全について関心を持っており、また協力的でもあると思います。そのような中で、意識啓発を図りつつ、公共用水域の水質を改善するためにも、合併浄化槽を普及させる必要があります。広報誌や市のホームページ等でPRをしています。

大関の調節池については、NPO団体の皆さん方が、あの流域に炭を入れて、水の浄化を試験的に取り組んでいただいていることに御礼を申し上げます。

個人 質問 新宅 雅子

男女共同参画社会の推進

問 策定中の男女共同参画計画の進捗状況とその概要について。

市長 八街市男女共同参画計画の策定状況は、本市における現状と課題、基本理念や基本目標の整理が概ね終了したところです。

基本理念は、まだ確定したものではありませんが、

「男女が互いに認め合い、支え合い、高め合いながら、すべての人が自己実現に向けて個性と能力を生かすことができる社会づくりを進めます」とする予定です。

また、基本目標は、「人権の尊重と男女平等の意識づくり」、「働きやすい環境づくり」、「家庭における男女平等の環境づくり」、「あらゆる場に参画できる社会づくり」、「安心して生き生きと活動できる社会づくり」の五つを掲げる予定です。

なお、この基本理念、基本目標は、さらに市民の意見を聴取するため、1月早々にパブリックコメントをする予定で、その作業を進めています。

交通安全

問 「あんしん歩行エリア」について。

エリア決定までの経過。具体的な安全対策。成果はどうか。

市長 平成15年7月、国土交通省と警察庁は、交通死傷事故の発生割合が高い地区を「あんしん歩行エリア」として指定しました。

本市の場合、国道409号市役所入り口から八街十



字路を経て、実住小学校を通り、大関入り口から大関調節池を経由し、富山十字路を経て、市役所までのエリア、約1・85kmにおいて、年間平均死傷事故件数が42件あることから、指定を受けました。

具体的な対策として、県は横断歩道や歩道の段差解消を、公安委員会は信号機の調整を実施し、本市は富山踏切改良、交差点の路面標示修正、カーブミラー設置、交通安全教室などを実施しています。

平成19年度までに死傷事故を抑制することを目標としているので、成果は平成20年度以降の評価となりますが、ここ数年は減少傾向です。

今後各関係機関と連絡

を密にし、実施可能な場所から鋭意努力したいと考えています。

若者の就職支援

問 本市としては、主に15才から34才までの若者への就職支援に対して、どのように考え、対応しているのか。富里市で開催されている「ジョブ・カフェちば」について、八街市在住者も対象になっているが、利用状況はどうか。また、市民への周知はどのようになっているか。

市長 15歳から34歳までの方の利用状況は、本年4月から10月末日までに男性28人、女性59人、計87人です。この内就職者数は、男性11人、女性14人、計25人です。「ジョブ・カフェちば」を当市でも開催するよう、今後県に対して要望したいと考えています。

健康診断

問 乳癌・子宮癌検査に対して、来年度から、どのような市民サービスの充実に努めていただけるのか。

市長 乳がんの早期発見を図るために、30歳から49歳の女性を対象に視触診を実施し、また50歳以上の女性を対象にマンモグラフィ検査を実施しています。30歳から49歳までの女性を対象とした検診方法を来年度から「視触診」から「超音波検診」に移行するための準備を進めています。

子宮がん検診は、近年20歳代女性の子宮がんの罹患率が増加傾向にあることから、年齢引き下げについて検討していますが、まずは受診しやすい体制整備に着手し、今までの集団検診に加え、来年度から市内の医療機関の協力を得て、個人検診実施に向け、現在、乳がん同様、準備を進めています。

乳がん検診・子宮がん検診に限らず、より効果的な検診を実施するために、今後検診体制の充実や検診精度の向上を図りたいと考えています。

??ジョブカフェちば?? 県で2004年6月に若者の就職支援・人材育成を目的に「ちば若者キャリアセンター」をJR船橋駅前に設置し、よみ多の方々へ当施設に親しみをもって頂くために愛称として「ジョブカフェちば」とよんでいる。